

令和5年度「星空の街・あおぞらの街」全国協議会表彰について

※【 】内は推薦自治体名となります。

団体賞 3団体

- ・環境大臣賞：岩手県立盛岡第一高等学校 天文部 【岩手県盛岡市】

1928年の天文同好会創設という長い歴史を受け継ぎ、今でも活動を続けており、地域住民や保護者らを対象に、盛岡一高天文ドームを開放し「星を観る会」を開催している。

また、盛岡市街地の屋外照明の影響により校舎での天体観測に障害が生じていると実感したことを契機に光害調査を開始。データの蓄積を行い、市民向け公開講座や研究発表会で発表するなど、光害の啓発活動に貢献している。

- ・協議会会長賞：福井工業大学【福井県】

大野市の六呂師高原の星空資源を活かし、環境保全に通じる星空観光の実現のため、光害に対応した照明器具の改修工事に係る支援や、光害対策照明計画等の策定、夜空の明るさ調査、環境教育といった地域と連携した取り組みを行い、大野市南六呂師エリアの星空保護区認定に貢献した。

- ・協議会会長賞：オヤット天文クラブ【福井県】

1996年から継続して環境省の星空観察を続けているほか、市民参加型の観望会「星のまち鑑賞会」を毎月開催し、星座や星の特徴、望遠鏡の使い方などを教えている。また、地元小学校への出前授業を行うなど、長年天文に関する普及・啓発活動に貢献している。

また、なお、同団体はH15年に「星空の街・あおぞらの街」全国表彰の協議会会長賞を受賞しており、受賞から20年を経ても継続した活動を続けている点を評価した。

個人賞 1 個人

・環境大臣賞：竹原 秀夫【福井県】

福井県自然保護センター所長在任時に、北陸で初めて星空案内人(星のソムリエ)資格認定講座の開始に尽力するなど啓発活動に積極的に取り組んでおり、また、退任後も自ら「星空案内人」の資格を取得し、地域の星空観望会の案内ガイドとして地域への啓発活動を続けているほか、大野市南六呂師みなみろくろしエリアの星空保護区認定に積極的に協力している点を評価した。

・協議会会長賞：該当なし